

ふるさと講座・自然系

オジロワシ・オオワシ観察会のお知らせ！

オジロワシ・オオワシを主に観察します。「時期が遅いのでは！」と思う方もいるかも知れませんが、ワシの他に、タンチョウやカモ類の渡りの季節で、たくさんの鳥たちが観察できます。とても欲張りな観察会です。ぜひ、ご参加ください。



- 日 時 平成24年3月24日（土）
午前9時～12時
- 場 所 風蓮湖・走古丹方面
- 講 師 別海町郷土研究会 会長 渡辺 昇 氏
- 集 合 郷土資料館へ9時までに集合
観察場所への移動は、当館で送迎しますが、自家用車での移動もできます。
- 定 員 15名（3月1日（木）から受付を開始します。電話・FAX・メールにて氏名・電話番号をご連絡ください。）
- 持 物 双眼鏡・図鑑（当館で若干貸出しします。）長靴を必ず着用ください。

「ウィンタースクール」(小学生対象事業)

化石のレプリカ作りに挑戦しました。

1月10日～11日に郷土資料館に寄贈されたアンモナイトを活用し、化石のレプリカを作る講座を実施しました。

3～6cmのアンモナイト5個のシリコン製型をあらかじめ用意しました。好きなものを選んでもらい、シリコン製型に石膏を流し込み、10分程度でかたまり、型からはずしやすりなどで整形してもらいました。時間がなく色付けは出来ませんでしたが、完成度が高いリアルなレプリカが完成しました。自宅で色を塗った参加者もいて、完成品を見せてもらいました。物作りを通して、観察する力やその物に対する興味関心が高まったようです。



着色前のレプリカ



着色後

→



近世の別海を探る「西別川河口から北」その 12

トシュンベツ

文献資料の標記は、「トシュンヘツ川」「トシュンベツ」「トシュンヘツ」「トシュムベツ」があります。現在の戸春別川になります。

○地名の由来

☆〔トシュンヘツ〕

・「ニツ目油水の川」

『丙寅慶応二年正月吉日万覚帳 安政六未年 子モロ地名和解書』

加賀伝蔵 安政 6 年(1859)

☆〔トシュムベツ〕

・「溺死ノニツ川」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治 24 年(1891)

○地勢・建物など

松前藩復領時代 文政 4 年(1821)～安政元年(1854)

・「小川有る也。此処沼内なり。」

『初航蝦夷日誌』松浦武四郎 弘化 2 年(1845)

・「但小川有」

『古人の邑嚙 嘉永七甲寅年閏七月〔子モロ場所〕』加賀伝蔵 嘉永 7 年(1854)

幕府再直轄時代 安政 2 年(1855)～慶応 3 年(1867)

・「川巾五十間」

『竹四郎廻浦日記』松浦武四郎 安政 3 年(1856)

・「…諸川…」

『勸国録』石川和助 安政 4 年(1857)



冬期間も開館しております。

ぜひ、ご来館ください。

別海町郷土資料館だより No.151

発行日 平成24年2月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

今年も 1 ヶ月が経過しました。年のせいか時間が経つのが早く感じられます。今年初めて小学生を対象に化石のレプリカ作りを実施しました。真剣な眼差しがとても印象的でした。ほんの少しのきっかけ多くの人たちに与えられるよう努力したいと思います。それにしても寒い日が続きますね。(K.I)